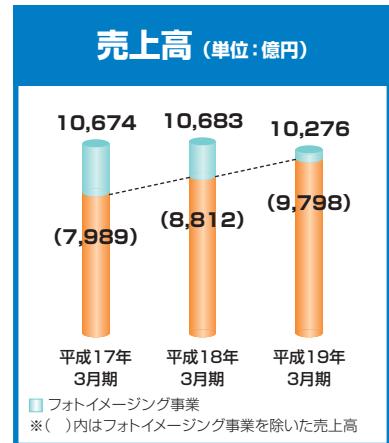


Highlights

連結売上高 1兆276億円

フォトイメージング事業を除くすべての事業で前期比増収

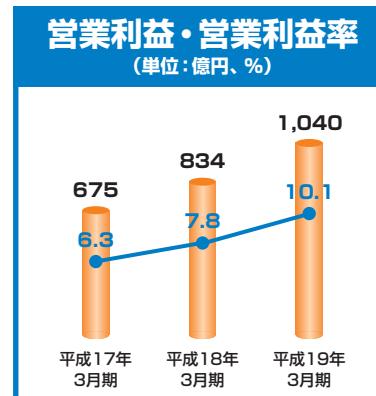
- ▶ 事業終了の過程にあるフォトイメージング事業が大きく売上を減少させているためグループ全体では前期比3.8%の減収となりました。
- 販売好調なカラーMFP(多機能複写機)を中心とした情報機器事業、TACフィルム*(液晶偏光板用保護フィルム)や次世代DVD用光ピックアップレンズが立ち上がったオプト事業など他の事業分野はすべて前期比増収となりました。



営業利益、初の1,000億円の大台達成

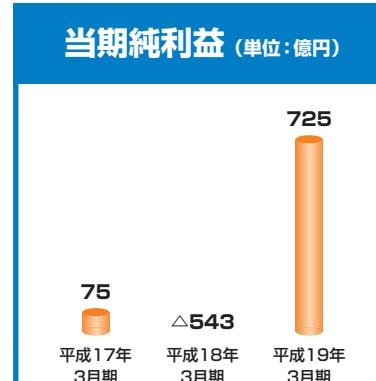
営業利益率、7.8%から10.1%へと2.3ポイント改善

- ▶ 営業利益が初めて1,000億円を超えるました。
- 営業利益率は中期経営計画『FORWARD(フォワード)08』で掲げている平成20年度の目標を1年前倒しで達成しました。



営業利益、経常利益、当期純利益、いずれも過去最高益

- ▶ 営業利益は1,040億円、前期比で205億円、24.7%の増益。
- 経常利益は980億円、前期比212億円、27.7%の増益。
- 当期純利益は725億円。(前期は損失)



* トリアセチルセルロースフィルム。テレビ、パソコン、携帯電話などの液晶ディスプレイの基本構造要素である偏光板を保護するフィルム。

• この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績の見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性があることをご承知ください。